マチノカオ

敷地 日暮里繊維街(日暮里中央通り尾久橋通り~尾竹橋通り間)

地図中の 🕶 部が繊維街の店舗に面する道路である。大通りに比べ人通りは少ないが、魅力的な生地屋、雑貨屋、服飾関連の店舗が並ぶ。実際に街を歩いて見つけた閉店済の商店や開発の関係で入居者のいない建物などを中心に計画・

5 つの建築を通して町全体の活性化目指して計画した。



コンセプト「街の顔をつくる」

街には顔と性格がある。顔は街の建物の外観や交通アクセスなど外的影響力を持つもの、 いわば街の第一印象を決めるものである。

それに対して街の性格は、売っている商品や訪問者の年齢層など内的影響力を持つもの、 つまり街の中に入ってからわかるものである。

現在の日暮里は、繊維街という性格はよく知られているが、

顔の印象が薄いようにみえる。今回の設計で街に訪れる人々の幅が広がり、 尚且つ地域住民の居場所を潰さない顔を作ることにした。

ダイアグラム

1. 布の街、布の道実現のため、布による空間構成がファサードに出るよう、

空間構成する布の特性を五つにしぼる

(垂れる、捲る、捻じる、張る、包む)

2. 建物の用途と流れやストーリー性に合わせて布の特性を各建築に一つずつあたえる

(敷地A) 垂れる=手差し伸べる=街の入口=屋外ステージ+ウィークリー賃貸住宅

(敷地B) 捲る=中覗く=中継点=屋外・屋内撮影スタジオ+写真展示場+ショップ

(敷地C) 捻る=曲がる=曲がり角=大通り裏の店舗への第二の入口=展示場+集合住宅

(敷地D) 張る=受けとめる=一休み=休憩所 (オープンスペース)+カフェ

(敷地E) 包む=静かで落ち着く=集中して鑑賞できる=ホール+区民事務所

日暮里繊維街の現状

布の街、布の道

これは日暮里繊維街全体のスローガンとして掲げられている言葉だが、あまり主張しておらず 繊維街の範囲(協同組合加盟店の窓など)に旗がかかっているだけである。

また、繊維街の始まりもオブジェが置いてあるだけで、景観が変わるわけでもないため ぽんやりとしている。しかし、コンテンツとしては服飾学生たちによるファッションショーや 繊維街の業者によるワークショップなど充実した催しがされている。

平日のイベントは駅前で問屋の人たちが布を使ったワークショップを行い、休日のイベントは 学生たちによるファッションショーが駅前のサンマークシティ内ホールで行われる。

また、日曜日は問屋が休みになるため、他の飲食店なども問屋に定休日を合わせていて、日曜日はほぼ営業していない店舗が目立つ。











C P マチノカオのつながり

現在の繊維街は活性化のために、ファッションショーやワークショップを行っているが、 それらはどれも駅前広場でとどまっており肝心の繊維街にまで

来場者を引き込めていないというのが現状である。





駅からの階段もちょうど繊維街の延長線上にあるため

敷地 A の容積率が減れば、今まで隠れていた繊維街が見えるようになり、

マチノカオによって日曜日でもにぎわう繊維街の姿が見えてくるのではないだろうか。

街に、賑わう場所が点在することによって、それらがつながりあい大きな一本の流れとして、 町全体をにぎやかにすることができるだろう。



+集合住宅

捲る 布を捲れば 街のさらなる魅力を 見つけられる

捲る + スタジオ



捻る ねじれた布に沿って曲がれば 大通りの裏手にも続く街が見える 新しい発見のきっかけ。

+シェアハウス

渡れたなら一体み。 張られた布が譲れを受け止めてく 捻る + 展示場 +集合住宅



包む 大きな布に包まれ 安心感とぬくもりで この街が大好きになる

包む + ホール・事務局

日暮里繊維街について -Research-



日暮里の歴史

奈良時代 賞製国豊島野売墓郷と呼ばれる地域に所属 推薦療は現在の台東区、荒川区、北区南部あたりを占めるかなり広大な地域 秋田県私川湾 小田県藩北条氏の東日渡山氏の居館があった頃。

1966年に住居表示が集日暮里、西日暮里に分けられた。

大正初期に消草方面で営業していた古織館、製落業者が、当時まが開設としていた日幕里、三河島是辺に集団移動した 以後日暮里地区として極端業者が集まる様になった。 昭和12年の日中戦争、16年太平洋戦争による物資不足により統制経済(配給制)に入り

20年の発送まで温度を停止せざるを得なかった。 大正12年の最災、昭和13年の日暮里大火を経て日暮里地区は医園整理が進み、道路も整備され、

三日か西面に20店舗商の店をリ児童が高業を始めていた。 一方神田(総本駅)、海軍、周町11は和歌山の第工所や大阪の影響会社、日本横巡省の大阪優等から出る2専品(0°C反)、 見なり品音を対った「成長の大阪 (日春日初なの東鮮はようした関係からハギル 表象、2等品(0°C反)、流いは 疑問工場から出る会別反響を仕入れ販売をしていた。

1000円。 鉄板と同時にハギレ類は総則を解除され、地元波いは総路から和向した異常等が日暮原地区で営業を両際、 車の接近接触費、進柱車の以い下が高、アメリカ古衣料、最初裏地、ハギレ等を販売、 以後衛振い正式大量に出生の基盤を除った。

平成元年2月に日暮里駅前にホテルラングウッド内に、荒川区文化物投「多目的ホール」がオープン。 そのオープンセレモニーとして2月9日(脳の日)に第一回のファッションショーが開催された。 ファッションギザリングは東京都裏性学校名類学校協会が原の開始学校の生活達による作品得るの場として、 ファッションショーをを日暮屋において開催することにより、日暮里機能者のイメージアップと顧客の新規開始、 さらに日暮甲米域の35七年初3日的で、以後45年開催されている。

平成26年度区民の声について

区区の声(区長へのメール、はがき、手紙、出版ファクシミリ等)は、同川区をよりよくするために、 日ごろ区に対して表じていること、望むことなど、 か変見、手間をお取りせいただくものです。お客中いただいたか意見表については、何々に対応するとともに、

区の仕事を進めていくための資料とさせていただきます。 平成26年度は、1,240件の区民の声が寄せられました。



多その他の要項は、共川区のHPに掲載されています

THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO







8

世市の安からも維修也を見つけることは難しいが安である。 日暮里の顔としての繊維街とは 日韓田は縁城街が有名だがその事実を知らない人もいる。 維維問屋初から維維的へ変わり、小売店だけでなく、一般人にも目扱の布を

繊維街は日暮里のどこにあるのか

洒路はレベルが高くなっていくため、そこでまた根據は終られている。

維修のは日義単中を通りにある。しかし、駅の出口から出て すぐのところに室内板はなく中中通りに入るところに室内板がある。

日幕里の駅の出口と中央通りはずれているため、

また、駅のホームは1月レベルにあり、乗販用の板で

形に出ってマンションを含の高いビルが並ぶため、

この位置の実内をはわかりづらいだろう。

複幅が適られていたり、駅は平坦だが、

変く提供するようになり、布だけでなく毎や鑑賞もたくさん恋っている。 布を使って付かをする人でなくとも立ち寄ると楽しむことが出来る。 しかし、日曜日は問居は休みのため、楊斌をは少し開教とする。 佐賀屋さん厨屋さんと少数の製屋は日曜日も営業しているので 平日の1/3程の人は居るだろうと感じた。平日は着者が布や裏屋を買っていき。 日曜日は親子や金銭がのんびり間や練習を買っていくようだった。

繊維街の日曜日

機能折の人は左回のように中心部以外は人気が弾れていく傾向にある。 日曜日には市の交通業も減るため仕宅街へ入る申道にかごいっぱいのハギレをおいて ワゴンセールのようにしている区解もあった 平日はぎゅうぎゅうになる幅 5.5m のお送も、日曜日は子供たちの鬼ごっこの広場になる また、質算中の店舗が少なく、来客も少ないため、店員とお客さんの認識が近く、

世間話を出典とする老人たちの姿も見受けられた。 軽強にシャッター他にならずに消んだのは、業者だけでなく

一般市民にも布を売るようになったことと、繊維衛と地域住民との関わり方にあるかもしれない。 基本的に問届や商店部分は1Fic、2F以降は集合仕宅や事務所・金医者などとして使われている。 飲食店もちらはらとあったが、問屋に定休日を合わせていて、日曜日はほぼ営業していなかった。 維維街の歩道にはずらりとベンチが並んでおり、一体みできるようになっていたが 日曜日はあまり使用者は見かけられなかった。

中央通りから住宅地関へ一本はいったところにも何件か布裏材の店があったが、 やはり日曜日はしまっていた。

繊維柜で一番、平日に人が集まるところにバス保があるが利用している人は見かけられなかった。 代わりに店先のアーブルセットやちょっとした役差にお年寄りが援助けて ばーっと暴色を除めている姿が見受けられた

布の街、布の道

これは日耳甲線無圧全体のスローガンとして 掲げられている言葉だが、あまり主張しておらず 維維街の範囲(位別組合加速店の完など)に 進がかかっているだけである。また、繊維なの始まりも オブジェが置いてあるだけで、悪硬が変わるわけでもないため 繊維物の始まりも終わりもほんやりとしている。 しかし、コンテンツとしては鉛熱学生たちによるファッションショーや 維修物の間側によるワークショップなど存実した修しがされている。 平日のイベントは配首で簡易の人たちが右を使ったワークショップを行い。 休日のイベントは学生たちによるファッションショーが駅前の



サンマークシティ内ホールで行われる。



top A contract	
PROCESSES.	8.118/2016
\$30000 BEEN 11-20	5,1010.1
30-3804-6725	63-0600
DESCRIPTION OF THE PERSON OF T	2.9107.0
SHAMING-THURS	6,1919.1
90.3804.7308	63 (862)
AHREST HOUSE	F. ALIBERT
SHOWING: THEREOF	



繊維街付近の施設

解析仮付近にはふれあい髭(公区盤のようなもの)が多く お年素りでも使えるよう。和変などが得っている。 しかしあくまで部屋を時間で信りるため、フリースペースというわけではない。 図書館は中央通りの外れの仕宅街にある。学生や通動椅りによく利用されているぞうだ。 経済、財政、団俗、ハングル図書などを多く所蔵しており、 全体能器数は12万円とそこそこ大きい図書館である。 高齢者向けの施設(老人ホームなど)は無く、中央通り沿いに小学校が二つ。 中央通りから外れたところには中学校や意様もある。 区日事務局も今は仮設で中央通りから一本道に入ったところにあるが、 新しく中央通り沿いに区民事務日を建て、移設する予定だそうだ。

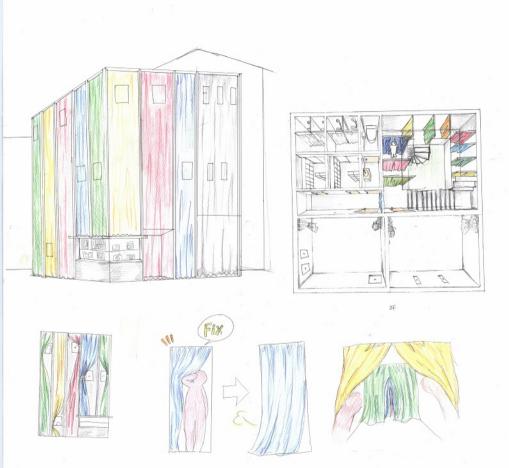
設計に当たっての課題

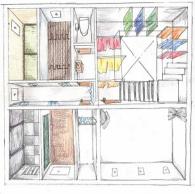
仕屋の実際から甲膏兼育向上にも関わるような健康協能であること 新しい区民事務局は電景の書望から維維衛を活性化させる複合施設であること 繊維電が土日平日関係なく、または土日は平日とは別の活発されなるような用途計画を立てる 無料で使用できて地域住民同士のコミュニケーションが取れるような建物があると良い 新婚だけでなく、リノベーションも考え、景観を著しく被遣しないように配慮する パリアフリーや、車両のための道路からのセットバックなども考慮する





捲る





50 平面







